

# NGS基本データフォーマット

基礎生物学研究所  
生物機能解析センター  
山口勝司

# 概要

---

## 序論

- データフォーマットとは？
- フォーマットを学ぶ理由
- 効率よい学習のポイント

## NGS基本データフォーマット

- FASTA FASTQ SRA
- BED GFF/GTF WIG
- SAM/BAM

# 概要

---

## 序論

- データフォーマットとは？
- フォーマットを学ぶ理由
- 効率よい学習のポイント

## NGS基本データフォーマット

- FASTA FASTQ SRA
- BED GFF/GTF WIG
- SAM/BAM

# データフォーマットとは？

---

データを記録するルール

ルールがあれば情報を効率良く正確に共有できる

例：Webページ → HTMLフォーマット

を使用することで

ハード(PC/スマートフォン)

OS (Windows/Mac)

ソフト (IE/Chrome/Safari)

が違っても、どんな環境でも同じページを閲覧可能

次世代シーケンサー解析では  
様々なフォーマットが使われる  
これらの把握が解析に必須

# フォーマットを学ぶ理由

## NGS解析の基礎知識だから

### 研究者間のコミュニケーションや解析方法の理解に必須

- 例1)      同僚A           : A遺伝子の塩基配列データ見せて      ← fasta形式が塩基配列情報を含むことを  
             あなた       : 了解です。fastaで送りますね      理解していれば、やりとりがスムーズ
- 例2)      マニュアル       : このソフトはfastaからtree/phylipファイルを生成します      ← 入力と出力の形式から  
             あなた       : 系統解析をするソフトなんだな      行った解析がわかる

### 研究目的にあわせた解析に必要なだから

フォーマットを知ると、そこから自力で必要な情報を獲得できる  
これにより、独自性の高い研究が可能になります

- 例3)      1, 巨大なfastaファイルから配列名だけ取り出したい  
             2, fasta形式では、配列名の頭に常に">"がつく      ← 専用のプログラムがなくても  
             3, ">"がある行だけ集めれば、配列名のリストができる！      自分がほしい結果を得られる  
             (エクセルの"並べ変え"機能でできそうだ！)

# 効率良い学習のポイント

## Wet 研究者がつまずく点

1: たくさん形式があって区別がつかない！

- 実態はなじみ深い生物学的情報です
- 各フォーマットが含む生物学的情報や解析で使われる場面に注目しましょう

2: 意味不明な文字がでてくる！

- \$や#など“意味不明文字”が頻出しますが、実は重要な情報が含まれています
- 「ヒトとコンピュータ、両方に扱いやすい表記」を考えた開発者の努力の結晶です
- 使い方を理解すれば強力な武器になります。がんばって理解しましょう

以上を踏まえて、各フォーマットを見ていきましょう

# 概要

---

## 序論

- データフォーマットとは？
- フォーマットを学ぶ理由
- 効率よい学習のポイント

## NGS基本データフォーマット

- FASTA FASTQ SRA
- BED GFF/GTF WIG
- SAM/BAM

# NGS基本データフォーマット

---

数十以上のフォーマットがあります  
頻出フォーマットだけを紹介します

- **配列用**

FASTA, FASTQ, SRA

- **アノテーション用**

BED, GFF/GTF, WIG

- **マッピング(アライメント)用**

SAM/BAM



# FASTA

概要	配列情報の標準フォーマット
内容	塩基配列 アミノ酸配列
例	公共DBからの配列情報ダウンロード

## ○規則

“>”で始まる行がタイトル行、改行後に配列  
タイトル行は改行不可 配列中では改行可能

## ○ファイル例

```
>gi|31342400 Bos taurus crystallin, gamma S (CRYGS), mRNA ←タイトル行
TGCACCAAACATGTCTAAAGCTGGAACCAAATTA CTTTCTTTGAAGACAAAA
ACTTTCAAGGCCG CCACTATGACAGCGATTGCGACTGTGCAGATTTCCACATG
TACCTGAGCCGCTGCAACTCCATCAGAGTGGAAGGAGGCACCTGGGCTGTGTA
TGAAAGGCCCA
>gi|31342400 Bos taurus crystallin, gamma S (CRYGS), mRNA
TGCACCAAACATGTCTAAAGCTGGAACCAAATTA CTTTCTTTGAAGACAAAA
ACTTTCAAGGCCG CCACTATGACAGCGATTGCGACTGTGCAGATTTCCACATG
TACCTGAGCCGCTGCAACTCCATCAGAGTGGAAGGAGGCACCTGGGCTGTGTA
TGAAAGGCCCA
```

# FASTQ

概要	NGS結果データの実質的な標準形式
内容	塩基配列、一塩基ごとの品質情報 (Quality value)
例	マッピング、アセンブル での入力データ形式

## ○規則

- 1行目 : “@” の後にタイトル(配列IDや説明)
  - 2行目 : 塩基配列
  - 3行目 : “+” の後にタイトル(省略可)
  - 4行目 : 配列のクオリティ
- \* 配列とクオリティには基本的に改行を入れない

## ○ファイル例

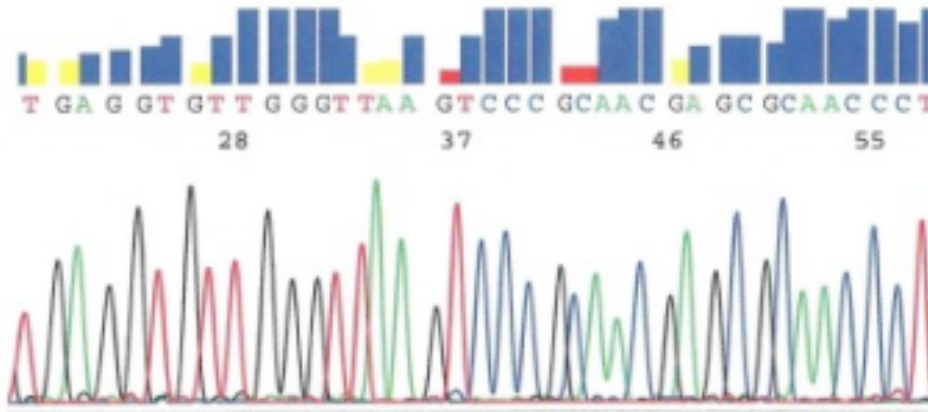
```
@SEQ_ID ←配列ID
GATTTGGGGTTCAAAGCAGTATCGATCAAATAGTAAATCCATTTGTTCAACTCACAGTTT ←塩基配列
+ ←配列ID(省略)
!''*((( (**+)) %%%++) (%%%) .1***-+*'' ) **55CCF>>>>>CCCCCCC65 ←クオリティ
```

実習1 lessコマンドでEx1\_1.fqの中身を見て、fastq形式を確認しよう

# FASTQのポイント

## 塩基配列の信頼性も示せる

Quality value (Phred quality score)



```
+  
! ' ' * ( ( ( ( * * * + ) ) % % % + + ) ( % % % % ) . 1 * * * -  
+ * ' ' ) ) * * 55 C
```

ABI キャピラリーシーケンサーで  
この部分で表されていた値

$QV = -10 \log_{10} p$  (  $p$  : 間違った塩基決定である確率)

$QV = 30 \rightarrow p = 0.001$

$QV = 20 \rightarrow p = 0.01$

数値でなく謎の文字が書かれている！

実際のFASTQデータを見ると、

@SEQ\_ID

GATTTGGGGTTCAAAGCAGTATCGATCAAATAGTAAATCCCTTTGTTCAACTCACAGTTT

+

! ' ' \* ( ( ( ( \* \* \* + ) ) % % % + + ) ( % % % % ) . 1 \* \* \* - + \* ' ' ) ) \* \* 55 CCF>>>>>>CCCCCCC65

# 謎の文字の正体 → “ASCIIコード”を使ってQVを1文字で表したもの

ASCII: American Standard Code for Information Interchange

コンピュータでは文字を数値で表す  
通信のため文字と数値の対応関係を規定（1965年）  
0～126の数値に文字を割り当て

A → 65

Apple → 65;112;112;108;101;

FASTQ → ASCIIコードを逆に使って、QV(数値)を文字で表す

65 → A

利点: 10進数表記よりもファイルサイズを減らせる  
(字数が半分、区切り文字も不要)

塩基:	G	A	T	T	G	G	T	G	A	A	T	T
文字:	!	?	@	A	>	=	;	9	7	4	0	,

文字が各塩基  
のQVを表現

# QVから文字への変換規則

問題点: ASCIIコードでは0-32はコンピューター用の特殊文字に割り当てられている

ASCIIコード表

数値	文字
0	null文字
1	SOH (ヘッダ開始)
2	STX (テキスト開始)
3	ETX (テキスト終了)
4	EOT (転送終了)
.....	.....
30	RS (レコード区切り)
31	US (ユニット区切り)
32	(スペース)
33	!
34	"

・ NGSでは10-30を頻用

$$p = 0.001 \rightarrow QV=30$$

・ 妥協案として特定値を加算してから文字に変換  
 $\text{Phred}(QV)\text{値} + X = \text{ASCII値とする}$

・ X値は現在  $X=33$  でほぼ統一

例) QV 30を表す場合

$$30 + 33 = 63$$

→ ASCIIコードで63に該当  
する文字を当てる (“?”が該当)

・ 変換にはコード表と簡単な計算が必要

実習2 Ex1\_2.fqのQV値を求め、すべての配列のp値(エラー確率)が0.01以下となるように3'側をトリミングしよう

Ex1\_2.fq

@SEQ\_ID

**GATTGGTGAATT**

+

??@A>=;9740,

QV值+33 = ASCII值

# ASCIIコード表

文 字	10 進	16 進	文 字	10 進	16 進	文 字	10 進	16 進	文 字	10 進	16 進	文 字	10 進	16 進	文 字	10 進	16 進	文 字	10 進	16 進			
NUL	0	00	DLE	16	10	SP	32	20	0	48	30	@	64	40	P	80	50	`	96	60	p	112	70
SOH	1	01	DC1	17	11	!	33	21	1	49	31	A	65	41	Q	81	51	a	97	61	q	113	71
STX	2	02	DC2	18	12	"	34	22	2	50	32	B	66	42	R	82	52	b	98	62	r	114	72
ETX	3	03	DC3	19	13	#	35	23	3	51	33	C	67	43	S	83	53	c	99	63	s	115	73
EOT	4	04	DC4	20	14	\$	36	24	4	52	34	D	68	44	T	84	54	d	100	64	t	116	74
ENQ	5	05	NAK	21	15	%	37	25	5	53	35	E	69	45	U	85	55	e	101	65	u	117	75
ACK	6	06	SYN	22	16	&	38	26	6	54	36	F	70	46	V	86	56	f	102	66	v	118	76
BEL	7	07	ETB	23	17	'	39	27	7	55	37	G	71	47	W	87	57	g	103	67	w	119	77
BS	8	08	CAN	24	18	(	40	28	8	56	38	H	72	48	X	88	58	h	104	68	x	120	78
HT	9	09	EM	25	19	)	41	29	9	57	39	I	73	49	Y	89	59	i	105	69	y	121	79
LF*	10	0a	SUB	26	1a	*	42	2a	:	58	3a	J	74	4a	Z	90	5a	j	106	6a	z	122	7a
VT	11	0b	ESC	27	1b	+	43	2b	;	59	3b	K	75	4b	[	91	5b	k	107	6b	{	123	7b
FF*	12	0c	FS	28	1c	,	44	2c	<	60	3c	L	76	4c	\	92	5c	l	108	6c		124	7c
CR	13	0d	GS	29	1d	-	45	2d	=	61	3d	M	77	4d	]	93	5d	m	109	6d	}	125	7d
SO	14	0e	RS	30	1e	.	46	2e	>	62	3e	N	78	4e	^	94	5e	n	110	6e	~	126	7e
SI	15	0f	US	31	1f	/	47	2f	?	63	3f	O	79	4f	_	95	5f	o	111	6f	DEL	127	7f

\* LFはNL、FFはNPと呼ばれることもある。

\* 赤字は制御文字、SPは空白文字(スペース)、黒字と緑字は図形文字。

\* 緑字はISO 646で割り当ての変更が認められており、例えば日本ではバックスラッシュが円記号になっている

<http://e-words.jp/p/r-ascii.html>

## 解説

```
@SEQ_ID
GATTGGTGAATT
+
??@A>=;9740,
```

①p値が0.01の時のQV値を求める

$$\begin{aligned} QV &= -10 \log_{10} p \\ &= -10 \log_{10} 0.01 \\ &= -10 (-2) \\ &= 20 \end{aligned}$$

QV < 20 部分をトリムすればよい

文字	10進	16進	文字	10進	16進	文字	10進	16進
SP	32	20	0	48	30	@	64	40
!	33	21	1	49	31	A	65	41
"	34	22	2	50	32	B	66	42
#	35	23	3	51	33	C	67	43
\$	36	24	4	52	34	D	68	44
%	37	25	5	53	35	E	69	45
&	38	26	6	54	36	F	70	46
'	39	27	7	55	37	G	71	47
(	40	28	8	56	38	H	72	48
)	41	29	9	57	39	I	73	49
*	42	2a	:	58	3a	J	74	4a
+	43	2b	;	59	3b	K	75	4b
,	44	2c	<	60	3c	L	76	4c
-	45	2d	=	61	3d	M	77	4d
.	46	2e	>	62	3e	N	78	4e
/	47	2f	?	63	3f	O	79	4f

②各文字をコード表からASCII値になおし、33を引いてQV値にする

塩基: G A T T G G T G A A T T

文字: ? ? @ A > = ; 9 7 4 0 ,

ASCII値: 63; 63; 64; 65; 62; 58; 59; 57; 55 52; 48; 44;

QV値: 30; 30; 31; 32; 29; 25; 26; 24; 22 19; 15; 11;

QV値 + 33 = ASCII値  
ASCII値 - 33 = QV値

# fastqファイルを見る上での注意点

- 1, QV値はあくまでシーケンサーによる推定値 目安として利用
- 2, 古いSolexa/Illuminaデータでは規格が乱立！！ ←重要

解析ソフト ver. (CASAVA)	～1.3	1.3～1.5	1.5～1.8	1.8～
参考使用時期	～2009	2009～2010	2010～2012	2012～
QV値算出法	Solexa	Phred	Phred	Phred
X値	64	64	64	33
QV range	-5～40	0～40	3～40 (2=end of read)	0～40

Phred(QV)値 + X = ASCII値

自分のデータがどのバージョン由来か確認し  
解析ソフトの設定を補正する必要がある



# FASTQのまとめ

概要: 塩基配列情報と各塩基の信頼性を表現する

規則:

- 1行目: "@" 配列名
- 2行目: 塩基配列
- 3行目: "+" (配列名)
- 4行目: 配列のクオリティ

ポイント: クオリティは ASCII文字で表現されている

$$QV値 + 33 = \text{ASCII値}$$

fastqの仲間 [SRA \(Sequence Read Archive\)](#)

公共DBへの登録とダウンロードに使用。  
バイナリ化(機械語化)された生シーケンスデータ  
fastqに変換可能

# NGS基本データフォーマット

---

数十以上のフォーマットがあります  
頻出フォーマットだけを紹介します

- 配列用

FASTA, FASTQ, SRA

- アノテーション用

BED, GFF/GTF, WIG

- マッピング(アライメント)用

SAM, BAM

# BED, GFF/GTF

概要	ゲノム上の特徴配列を表現する（アノテーション情報）
内容	遺伝子名 染色体上の位置 向き エクソン構造
例	公共 <b>DB</b> からアノテーション情報をダウンロード 解析したい領域の指定 アノテーション作業 遺伝子構造予測ソフトの結果出力

## <3形式の違い>

<b>BED</b>	ブラウザでの描画情報（色など）を記録可能
<b>GFF</b>	拡張性が高く様々な特徴情報を記録可能
<b>GTF</b>	<b>GFF</b> の厳格化版 一貫した規則で特徴情報を記録可能

# BED (Browser Extensible Data format)

ブラウザでの描画情報(色など)を記録可能

○規則

項目数 3-12 タブ区切り

省略する場合は何も書かない(タブを2個連続させる)

染色体/ Scaffold 名	指定領域		領域名	スコ ア/表 記の 濃淡	ス ト ラ ン ド	太線表示		表示色 赤, 緑, 青 の強度 (0-255)	ブロック(exon等)の情報 コンマ区切りで表記		
	開始 位置	終止 位置				開始 位置	終了 位置		個 数	サイズ	開始 位置
chr22	1000	5000	cloneA	960	+	1000	5000	255,0,0	2	567,488,	0,3512
chr22	2000	6000	cloneB	900	-	2000	6000	0,0,255	2	433,399,	0,3601

1-3項目は  
必須

4-12項目は省略可

領域開始位置=0  
とした位置

実習3 Ex1\_3.bedはヒトゲノム(GRCh37)の一部をbed形式にしたものである  
lessコマンドで開いてbed形式を確認しよう

# GFF (General Feature Format / Gene Finding Format)

拡張性が高く様々な特徴情報を記録可能

ゲノムアノテーションの標準的形式

## ○規則

項目数 5-9 タブ区切り

セミコロンで区切られた タグ  
値の対

省略する場合は“-”や“.”を入れる

染色体/ Scaffold 名	予測ソフト 名等	領域の 種類	指定領域		スコア	ストラン	読 枠	属性
			開始 位置	終止 位置				
chr22	Manual	exon	1001	5000	960	+	0	.
chr22	Manual	exon	2001	6000	900	-	0	NAME "pol1";

必須

省略可

属性カラムに様々な情報を追加できる → 拡張性高

# GTF (General Transfer Format)

基本的にGFFと同じだが、仕様をより細かく規定

## ○規則

染色体/ Scaffold 名	予測ソフト 名等	領域の 種類	指定領域		スコア	ストランド	読み枠	属性
			開始 位置	終止 位置				
chr22	Twinscan	CDS	380	401	.	+	0	gene_id "001"; transcript_id "001.1";
chr22	Twinscan	CDS	501	650	.	+	2	gene_id "001"; transcript_id "001.1";
chr22	Twinscan	CDS	700	707	.	+	2	gene_id "001"; transcript_id "001.1";
chr22	Twinscan	start_codon	380	382	.	+	0	gene_id "001"; transcript_id "001.1";
chr22	Twinscan	stop_codon	708	710	.	+	0	gene_id "001"; transcript_id "001.1";

必須: CDS, start\_codon, stop\_codon

任意: 5UTR, 3UTR, inter, inter\_CNS, intron\_CNS, exon

それ以外は無効

遺伝子と転写産物のIDを

表記する

実習4 Ex1\_4.gtfは 1\_3と同じ領域をgtf形式にしたものである。  
lessコマンドで開いてgtf形式を確認しよう

# 注意 GFF/GTFとBEDでは座標の表現が異なる

GFF/GTF: 開始、終了ともに 1-based (1 から始まる) 座標

BED : 開始は 0-based, 終了は 1-based 座標

## 具体例

GFF/GTF	1	2	3	4	5	6	7	8	
	A	G	T	A	C	T	C	G	
BED	0	1	2	3	4	5	6	7	8

黄色部分を示す時

GFF/GTF format: 開始 3, 終了 6 (長さは  $6-3+1=4$ )

BED format : 開始 2, 終了 6 (長さは  $6-2=4$ )

実習5 Ex1\_3.bedとEx1\_4.gtfを開き、実際に座標がずれていることを確認しよう

# WIG (Wiggle Format)

概要	ゲノム上の量的特徴を表現するための形式
内容	ゲノム上の座標に対する”数値”情報
例	GC含量、発現量などを表す

## ○規則 2形式から選べる

### 1) VariableStep 柔軟な指定が可能

```
variableStep chrom=chr2
```

```
300601      22.5
```

```
300701      30.5
```

```
300751      28.2
```

位置と値の組で領域を指定するため  
間隔は位置ごとに変更可能

### 2) FixedStep コンパクトな表現が可能

```
fixedStep chrom=chr3 start=300601 step=100
```

```
22.5
```

```
30.5
```

```
25.8
```

定開始位置と間隔は先頭  
行で指定し、後は値のみ  
を示していく



# NGS基本データフォーマット

---

数十以上のフォーマットがあります  
頻出フォーマットだけを紹介します

- 配列用

FASTA, FASTQ, SRA

- アノテーション用

BED, GFF/GTF, WIG

- マッピング(アライメント)用

SAM, BAM

# SAM (Sequence Alignment/Map format)

概要	マッピング (アライメント) 結果を表現
内容	マッピング情報 (位置, インデル, ミスマッチ) ペアフラグメントの状況, 塩基配列
例	<b>SNP</b> 、発現量解析への入力データ形式

## ○ファイル例

@HD VN:1.5 SO:coordinate @SQ SN:ref LN:45	ヘッダー部	マッピング結果
r001 163 ref 7 30 8M2I4M1D3M = 37 39 TTAGATAAAGGATACTG *		
r002 0 ref 9 30 3S6M1P1i4M * 0 0 AAAGATAAGGATAT *		
r003 0 ref 9 30 5S6M * 0 0 GCCTAAGCTAA *		SA:Z:ref,29,-,6H5M
r004 0 ref 16 30 6M14N5M * 0 0 ATAGCTTCAGC *		
r003 2064 ref 29 17 6H5M * 0 0 TAGGC *		SA:Z:ref,9,+,5S6M
r001 83 ref 37 30 9M = 7 -39 CAGCGGCAT *		NM:i:1

実習6 Ex1\_7.samを開きsam形式を確認しよう

# ○規則

## ヘッダー部

@HD VN:1.5 SO:coordinate

@SQ SN:ref LN:45

“@”で開始

@HD VN: (バージョン) SO: (ソート状況)

@SQ SN: (リファレンス名) LN: (リファレンスの長さ)

## マッピング結果部分

項目間はタブで区切る

フラグメント名	FLAG	リファレンス配列名	アライメント 開始位置	マッピング QV	CIGAR	ペアフラグメントの場所			配列 Q V	オプション
						Ref 名	開始	長さ		
r001	163	ref	7	30	8M2I4M1D3M	=	37	39	TACATAAACCATAC TG	*
r002	0	ref	9	30	3S6M1P1i4M	*	0	0	AAAGATAAGGATAT	*
r003	0	ref	9	30	5S6M	*	0	0	GCCTAAGCTAA	* SA:Z:ref,29
r004	0	ref	16	30	6M14N5M	*	0	0	ATAGCTTCAGC	*
r003	2064	ref	29	17	6H5M	*	0	0	TAGGC	* SA:Z:ref,9,
r001	83	ref	37	30	9M	=	7	-39	CAGCGGCAT	* NM:i:1

ポイント！ “CIGAR” “FLAG”

# SAMのポイント1 : CIGAR

数字と文字を組み合わせアライメント状況を示す

フラグメント名	FLAG	リファレンス配列名	アライメント開始位置	マッピングQV	CIGAR	ペアフラグメントの場所			配列	配列QV	オプション
						Ref名	開始	長さ			
r001	163	ref	5	30	3M2D2M	=	37	39	GCAAG	44>>>	

3M2D2M

塩基数

状況

3塩基一致、2個挿入、2塩基一致

ref : ATGCGCATTAGCCTAA

read : GCA--AG

記号	状況
M	一致
I	挿入
D	欠失
N	イントロン(RNAvsDNAのみ)
S	クリップ (塩基情報残す)
H	クリップ (塩基情報削除)
P	他リードが 挿入を入れている

# SAMのポイント2: FLAG リードの状態を示す数値

理解すると「マップされなかったリードだけ選ぶ」などの操作が可能になる

数値 (10進数)	意味
1	ペアリードがある
2	両方適切にマップされている
4	自分がマップされていない
8	ペア相手がマップされていない
16	逆鎖にマップされた (配列も逆鎖で表記)
32	ペア相手は逆鎖にマップされた
64	<b>Read1</b> の配列である
128	<b>Read2</b> の配列である
256	<b>Multiple hit</b> でトップヒットでないアライメント
512	マッピング <b>QV</b> が低い

複数の状況に合致する場合は数値を加算

ペアリード, 両方マップされた →  $1+2=3$

2進数の個々の有無で評価されている

加算した結果が、ほかの状況と一致しないようになっている

# Paired end readでFLAG値の組み合わせを見てみる



ペアリードがある 両方適切にマッピングされている 自分がマッピングされていない ペア相手がマッピングされていない 逆順にマッピングされた ペア相手は逆順にマッピングされた Read1の配列である Read2の配列である	2進数表記	10進数表記
1 1 1 1 1 1 1 1	11111111	255

通常のpaired end seqで consistentにアラインしていれば この4通りになる	0 1 0 1 0 0 1 1	01010011	83
	0 1 1 0 0 0 1 1	01100011	99
	1 0 0 1 0 0 1 1	10010011	147
	1 0 1 0 0 0 1 1	10100011	163
片方しかアラインしていない場合	0 1 0 0 1 0 0 1	01001001	73
	0 1 0 1 1 0 0 1	01011001	89
	0 1 0 0 0 1 0 1	01000101	69
	0 1 1 0 0 1 0 1	01100101	101
	1 0 0 0 1 0 0 1	10001001	137
	1 0 0 1 1 0 0 1	10011001	153
	1 0 0 0 0 1 0 1	10000101	133
	1 0 1 0 0 1 0 1	10100101	165
どっちもアラインしていない場合	0 1 0 0 1 1 0 1	01001101	77
	1 0 0 0 1 1 0 1	10001101	141

# 自動でflagを計算してくれるサイトがある

<http://broadinstitute.github.io/picard/explain-flags.html>

This utility explains SAM flags in plain English.  
It also allows switching easily from a read to its mate.

Flag:

Explanation:

- ☐ read paired
- ☐ read mapped in proper pair
- ☐ read unmapped
- ☐ mate unmapped
- ☐ read reverse strand
- ☐ mate reverse strand
- ☐ first in pair
- ☐ second in pair
- ☐ not primary alignment
- ☐ read fails platform/vendor quality checks
- ☐ read is PCR or optical duplicate
- ☐ supplementary alignment

Summary:

# SAMのまとめ

概要: 各リードがマップされた場所と状態を表す

規則: ヘッダ部とアライメント部からなる タブ区切り

ポイント:	FLAG値	→ リードのマップ状況
	CIGAR値	→ リードのアライメント状況

触れなかった重要点

ペアフラグメント部分の“長さ”列 → フラグメント間距離 + 両リード長

SAM formatの詳細な仕様書

<http://samtools.github.io/hts-specs/SAMv1.pdf>



# BAM

- BAM

SAMをバイナリ(機械語)化したもの

容量が小さくなるが、人には理解できない

SAMに戻すことも可能なので必要に応じて変換

- BAM indexing file

BAMファイルに対して作られる検索用ファイル

高速検索や可視化ソフトなどに必要

後ほど詳しく説明

# フォーマット各論まとめ

	FASTA	FASTQ	SAM
概要	配列情報の標準形式	NGS結果の標準形式	マッピング結果を示す
内容	塩基配列 アミノ酸配列	塩基配列と 一塩基to毎の品質情報	マッピング情報 ペアの状況, 塩基配列
例	公共DBからの配列情報 ダウンロード	マッピング、アセンブル解析 での入力データ形式	マップ結果の閲覧、集計 SNP、発現量解析への入力
特徴		QV値はASCII文字で表現 SRAから変換可能	CIGAR, FLAG値を利用 バイナリ化したのがBAM

	BED	GFF	GTF	WIG
概要	ゲノム上の特徴配列を表現する			ゲノム上の量的特徴を表現
内容	遺伝子名 染色体上の位置 向き エクソン構造			ゲノム上の座標に対する ”数値”情報
例	公共DBからアノテーション情報をダウンロード 解析したい領域の指定 アノテーション作業 遺伝子構造予測ソフトの結果出力			GC含量、発現量などを表す
特徴	ブラウザでの描画 情報を記録	拡張性高	GFFの厳格化版 一貫した規則	2つの形式 VariableStep/FixedStep